

『健康経営優良法人 2021 - 大規模法人部門 -』
に認定されました



医療法人社団慶友会では『健康創造』を理念に掲げ、職員そして地域の皆様の健康を支えるべく、日々取り組んで参りました。

そのような私たちの取組みが評価され、経済産業省、並びに厚生労働省が共同で実施しております健康経営優良法人の認定を頂けたことに、大変喜ばしく思います。

これからも職員が健康に、そして安心して働ける環境を整え、更なる安心圏の構築に取り組んで参ります。

診療科目

- ・一般内科
- ・外科
- ・消化器内科
- ・整形外科
- ・呼吸器内科
- ・泌尿器科
- ・循環器内科
- ・精神科
- ・腎臓内科
- ・放射線科
- ・内分泌内科
- ・リハビリテーション科
- ・緩和ケア内科
- ・歯科・歯科口腔外科

併設センター

- ・糖尿病・生活習慣病センター
- ・人工腎臓センター
- ・化学療法・治療センター
- ・予防医療センター
- ・在宅医療福祉センター
- ・緩和ケアセンター
- ・肝臓病センター
- ・内視鏡センター

グループ施設

- ・老人保健施設 さくら館
- ・特別養護老人ホーム 養生の杜カムイ
- ・デイサービスセンター ほたる
- ・グループホーム K館
- ・グループホーム アテナ
- ・特別養護老人ホーム 仁慈苑
- ・デイサービスセンター 透空



■診療受付時間

- 【平日】午前 8:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
【土曜日】土曜 8:00 ~ 12:30
【休診日】日曜日、祝日、年末年始

〒070-0054 旭川市4条西4丁目1-2

0166-25-1115

<https://www.keiyukai-group.com/yoshi-hp/>



慶友会グループ広報誌

すこやか

KEIYUKAI NEWSLETTER

2021.4
vol. 73
free paper

ご自由にお持ちください



医療法人社団 慶友会 吉田病院
YOSHIDA HOSPITAL



この地を人々の安心圏としたい
地域の皆様の健康創造を支援し、



医療法人社団慶友会
社会福祉法人慶友会 理事長 吉田 良子

かつてないほどに厳しく慌ただしい冬を経て、この旭川に春がやってきました。厳しかった冬もいつか春が訪れるように、私ども慶友会も、クラスターの発生という大きな出来事を経て、無事、吉田病院を再開することができました。

この間、新型コロナウイルスの影響によって心身にダメージを受けることとなった皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、ご心配とご迷惑をおかけしました全ての関係者の皆様にお詫び申し上げます。

また、厳しい状況の中にあって、地域の、そして全国のたくさんの方々から温かい励ましをいただきました。本当にありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

今回の出来事は、改めて私たちの果たすべき役割について見つめ直す機会となりました。地域の人々の「健康創造」を支援し、この地を人々の「安心圏」としたい。そしてそれは私たちだけできることではなく、他の医療機関の皆様や医療行政に携わる方々など、様々な関係者の方々と力をあわせることによって始めて実現するテーマなのだと改めて思いました。

この出来事を受けて、私たち慶友会はより強くなり、吉田病院はより愛される病院となる。その決意をもって、皆様への恩返しの端緒としたいと思います。

引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスのこれから

武漢から春節の休暇に伴う旅行者の大移動で全世界に広がってしまった新型コロナウイルス感染症は、大きな傷跡を残している。発生から1年以上たった今も制圧にはほど遠く、アメリカでは死者が50万人を超えた。

感染制御的には感染源の隔離と感染予防策で管理できそうではあるが、社会生活とは相反する対策となり経済活動や社会活動に対する影響は甚大である。本院のクラスターでも実感されたことではあるが、爆発的な感染拡大は少ないが、感染源から濃厚接触者を介してじわじわと感染が拡大する。ワクチンの導入によって、感染様式が複雑になり、管理が余計に難しくなる局面も想定される。結局、感染制御の基本である感染源を早く見つけて隔離、治療して、感染の拡大を管理することに尽きていくよう思っている。

世界的に感染数は減少してきてはいるが、今後、新しいウイルス性呼吸器感染症に取り変わらぬか、軽症呼吸器感染症として定着するのか、全ての感染源が消滅して人類史上から退場していくのか注視しなければならない。感染数が減少しているタイミングで治療薬が出てくるのが理想であるが、まだまだ遠い先になりそうである。



医療法人社団慶友会吉田病院
呼吸器内科
プリンシパル・ドクター

大崎 能伸



医療法人社団慶友会吉田病院
メンタルヘルス・睡眠外来
学術顧問 千葉 茂

こころを遊ばせる

二〇二一年の年明けから、世界の絶景を巡る旅に出ています。一月一日は、新年を迎えた米国ニューヨークのタイムズスクエア、一月二日は夕焼けに染まるロサンゼルス中心街・・・。二月末までに訪れたのは、北米や南米の四十九の絶景地です。

あっ、申し遅れましたが実際に訪れたではありません。購入した「世界一周 絶景 日めくりカレンダー」(二〇二一年版、卓上用)には、日ごとに世界各地の絶景スポットの写真が掲載されていますので、これで世界の絶景をめぐる旅を楽しんでいるというわけです。実は、楽しみ方にはコツがあります。単に写真を眺めるのではなく、実際にその場に身を置いた状態を想像することです。光、風、気温、時には人々の声など。想像力とは、こころを遊ばせる力です。これを鍛えると、一枚の小さな写真でも迫力ある体験を味わうことができます。

考えてみると、想像力は、医療・福祉の現場でも大切です。想像力が不足すると、患者が困っている状況を把握できず、適切に治療・対応することができなくなります。その意味では、医療・福祉は、想像力の仕事といえるでしょう。

コロナ感染禍で行動が制限されている状況ですが、こころを遊ばせる余裕は持ち続けたいものです。



医療法人社団慶友会吉田病院
一般内科
病院長 馬場 勝義

創立40周年という節目を迎えて

4月は年度初めです。新入職員を見かけると新たな気持ちになれ、今年度こそはと思うのですが、いつも実現できず自己嫌悪に陥ります。

昨年11月6日の新型コロナウイルスクラスター発生は、患者様、ご家族の皆様、そして関係各位様に多大な迷惑、ご心痛をおかけし心からお詫び申し上げます。この医療災害を終息させた職員の一致した団結力に改めて経緯を表します。また、市民有志の方々からの「応援します！吉田病院」の横断幕にはとても力を頂きました。本当にありがとうございました。

未曾有のクラスターを経験した吉田病院は、感染症に強い病院に生まれ変わりました。しかし、宣言だけでは市民の方からの信頼は到底得られません。どんな想定外をも想定し、地道に日々診療を実践していく中で、地域医療に貢献していきたいと思います。

吉田病院は、今年で創立40周年を迎えます。開院時の理念に立ち返り、初心を忘れず、慶友会の良き伝統を受け継いで参ります。しかし、少子高齢化の流れの中で漫然と医療を提供するだけでは生き残れません。職員各位の叡智を必要としております。

慶友会職員の皆さん、今年度もどうぞ宜しくお願ひいたします。



たくさんのご支援、
本当にありがとうございました



この度はたくさんのご支援を頂き、本当にありがとうございました。

旭川市のみならず、日本全国の方々から、こちらに全てを載せきれないほどの、お手紙や寄贈品などをたくさん頂きました。コロナ禍で疲弊していた職員にとって、大きな励みとなりました。心より感謝申し上げます。

これからは皆様に診療を通して恩返しができるよう、日々邁進して参りますので、引き続きご支援の程よろしくお願ひいたします。

吉田病院では、 こんな感染予防対策を しています



人と人とが交わらないよう、
導線を確保しています



感染症拡大防止に
ご理解とご協力を
お願いいたします。